

# 川口ぞうれっしゃ合唱団

## 6月第12回演奏会 メンバー募集中

合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」の12回目のコンサートが6月28日、さいたま市の埼玉会館大ホールで開かれる。川口市民らでつくる「川口ぞうれっしゃ合唱団」が1991年に川口総合文化センター・リアで初演し、その後2年ごとに歌声を披露してきた。公演ごとにメンバーを募集しており、今回も「一緒に歌いましょう」と呼びかけている。

【鶴沢哲雄】

### 「一緒に歌い、晴れやかに」

全11話の組曲は、名古屋山崎動物園のゾウ2頭が太平洋戦争中、園長らの必死の努力で餓死をまぬがれ、生き残った実話を基に作られた。戦後、「ゾウに会いたい」と願う子どもたちの夢をかなえるため、埼玉、東京、

大阪など全国から子どもたちを乗せた特別列車「ぞう列車」が動物園に向け走った。

まっすぐに伸びたレールは……象たちのもとへとどく……長い戦争を生き抜いた象たちに 象たちの命を守った人たちに 象列車よ 急げ やみをさいて走れ 象列車よ急げ 空をかけて走れ

合唱団代表の荒木紀理子さん(58)は90年に蔵手で開かれた別のグループの演奏会を聞いたのがきっかけとなり、翌年「川口でも歌おう」と仲間と企画し団員600人とコンサートを開いた。

昨年11月から練習を開始。現在は2歳から82歳までのメンバー20人が月2回、川口市内の集会所で練習に取り組んでいる。お年寄りに加え、若いファミリーの参加も増えているという。6回目の出演となる元小学校教諭の源けさみさん(61)は、親子三代で参加す

る。次男の敬介さん(30)は初演以来2回目、妻真未さん(30)と長女壱乃未ちゃん(1)も舞台に立つ。源さんは「子どもたちと一緒に歌い続けてくれたのは、歌の魅力とたくさんの方の思いが重なったから。毎回、歌い終えると本当に晴れやかな気持ちになります」と話した。問い合わせは合唱団(☎048・268・6250)。メールアドレス(waguichizou21@sg.dion.ne.jp)。



本番に向け練習を重ねる「川口ぞうれっしゃ合唱団」のメンバー川口市内の集会所で